

シリーズ

「人権問題に関する
府民意識調査」から
みた啓発の課題③



忌避意識克服へのヒント

おく だ ひとし
奥田 均さん(近畿大学人権問題研究所 教授)

「こうした差別は必ず解決する」という「解決への展望の共有」にまでその理解を高めることの重要性が示唆されています。

(2)「差別についての考え方」と忌避意識

表の中段、「差別についての考え方」とのクロス集計部分をとりあげます。「差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い」という考え方に賛成の人の場合、「同和地区や同じ小学校区にある物件は避ける」とした人が46.5%にも達しています。逆に、こうした考え方に「反対」の人の場合、その割合は16.1%にとどまっています。

差別の原因を被差別者の側に求める考え方(被差別者責任論)が忌避意識を「正当化」させているのでしょうか。忌避意識の強さと被差別者責任論とは深く関わっていることが示されています。部落差別の現実を「社会問題としてとらえる」ことが、忌避意識克服の観点からも求められています。

(3)「日常生活の経験」と忌避意識

表の下段のクロス集計は「日常生活の経験」と忌避意識の状況を確認しているものです。「同和地区の人はこわい」という話を聞いたことのある人の場合、「同和地区や同じ小学校区にある物件は避ける」とした人が36.1%あり、聞いたことのない人の15.4%と比べて、2倍以上の高い割合を示しています。

他方、「知り合いに差別解消や人権擁護に熱心に取り組んでいる人」がいる人の場合、「いずれにあってもこだわらない」人が37.2%とあり、周囲に熱心な人のいない場合の18.8%を大きく上回っています。

日常生活にまで届くきめ細かい啓発活動のあり方を工夫して、差別的なうわさが入り込まない状況を作り上げるとともに、網の目のごとくに啓発リーダーを育成していくことが忌避意識の克服に有効であることが示されています。

「同和地区に転居したり、同和地区の人と結婚すれば、自分たちも同和地区出身者と見なされてしまうのではないだろうか。そんなことになれば、自分たちにも部落差別が降りかかってくる。」そんな思いが、同和地区や同和地区出身者への忌避意識(避ける意識)となって、今日の部落差別を支えています。

ここでは、こうした忌避意識をはかるモノサシとして、不動産の購入における「同和地区や同じ小学校区にある物件を避けること」への質問結果を取り上げ、その克服に有効な取り組みへのヒントを他の質問とのクロス集計の結果から考えてみたいと思います。クロス集計する質問は、「差別の現状認識と展望」「差別についての考え方」「日常生活の経験」です。

(1)「差別の現状認識と展望」と忌避意識

表は、クロス集計結果の一覧です。まずは、「差別の現状認識と展望」の欄をみてみることにします。

一つ目は、部落差別の現状認識とのクロス集計です。「同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか」との質問において、「しばしば反対される」と差別の現実を厳しく認識している人の場合、「同和地区や同じ小学校区にある物件は避ける」とした人は44.7%にのぼっています。差別の現実を深刻に受け止めている人ほど、忌避意識が強い様子が見えます。

二つ目は、部落差別解消への展望とのクロス集計です。「結婚差別を近い将来なくすことができると思いますか」との質問で、「完全になくすことができる」と回答した人の場合、41.7%の人が不動産購入において「こだわらない」と回答しています。差別撤廃への展望を持っていることが忌避意識の克服に影響を与えていることがわかります。

差別の現実認識は取り組みのスタートラインを形成する、欠けてはならないテーマです。しかし、そこにとどまるのではなく、

■表 忌避意識に関わっているもの

		回答者数	同和地区や同じ小学校区にある物件は避ける	同和地区の物件は避けるが、同じ小学校区の物件は避けない	いずれにあってもこだわらない	わからない	
全体		3538(100%)	28.2%	16.8%	21.6%	33.4%	
差別の現状認識と展望	同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか	しばしば反対される	828(100%)	44.7%	20.8%	15.3%	19.2%
		たまに反対される	1098(100%)	28.7%	22.3%	21.9%	27.0%
		反対されることはない	188(100%)	13.8%	11.2%	48.4%	26.6%
差別の現状認識と展望	結婚差別を近い将来なくすことができると思いますか	完全になくすことができる	139(100%)	17.3%	15.8%	41.7%	25.2%
		かなりなくすことができる	1156(100%)	27.2%	23.6%	22.3%	26.8%
		なくすことは難しい	709(100%)	51.9%	18.5%	10.3%	19.3%
差別についての考え方	「差別の原因には、差別される人の側に問題があることが多い」という考えについてあなたの意見は?	賛成	462(100%)	46.5%	16.9%	14.9%	21.6%
		どちらかといえば賛成	1028(100%)	33.5%	19.9%	19.2%	27.4%
		どちらかといえば反対	486(100%)	23.3%	19.8%	27.2%	29.8%
日常生活の経験	「同和地区の人はこわい」という話を聞いたことがありますか	ある	2177(100%)	36.1%	19.8%	17.8%	26.3%
		ない	1280(100%)	15.4%	12.0%	27.6%	45.0%
	あなたの知り合いに差別解消や人権擁護に熱心に取り組んでいる人はいますか	いる	476(100%)	21.6%	18.7%	37.2%	22.5%
	いない	2785(100%)	29.8%	16.7%	18.8%	34.7%	

(注) 回答結果における「無回答・不明」は除いています。